

# 全国「こども英語スピーチ」

## 白山出身平木さん優秀賞

白山市千代野出身で七尾市田鶴浜中学校一年の平木美由華さんが、全国の英語スピーチコンテストで優秀賞に輝いた。将来は「キャビンアテンダントになりたい」と夢を抱く十三歳。「外国の人とペラペラ話せるようになりたい」。英語がますます好きになった。(小塚泉)



長田さん(左)や教室に通う生徒と喜びを分かち合う平木さん(中)＝白山市相木町で

コンテストはこども英語スピーチコンテスト。予選が主役の街「キツザニパン(東京)」が主催し、県西宮市で行われた本選に進み、グランプリと準グランプリに次ぐ優秀賞に選ばれた。

テーマは運動会。学校の運動会で踊った七尾またらの「お祝い」のときに踊ります。などと伝えたい気持ちを込めて英語で紹介した。

平木さんは、母の勧めで小学二年から白山市相木町のパステルム英語教室に通う。講師の長田幸子さん(右)は「ネーティブのように発音がきれい、英語が大好きという気持ちが伝わってきた」。

## 中1「夢は客室乗務員」

ました」と振り返る。小学四年のときに父親を病気で亡くし、母親の実家がある七尾市田鶴浜町に転居した後も月一回、長田さんの教室に通い続けている。

キャビンアテンダントには小学三、四年のときにドラマを見てあこがれたという。小学六年で英検四級と二級に一発合格。現在は準二級合格に向けて勉強している。

十三人が通う教室では最上級生で、小さな子の面倒をみるお姉さん。優秀賞に長田さんは「誇らしい気持ちです」と語り「夢が一貫している、実現してほしい」と見守る。今では、互いによき相談相手でもあるという。

中学ではソフトテニス部に所属。平木さんは夢をかなえたときには「心の中でお父さんに報告したい」と語った。